

雲ノ平・薬師沢へ日帰りで行く

今日のお会い



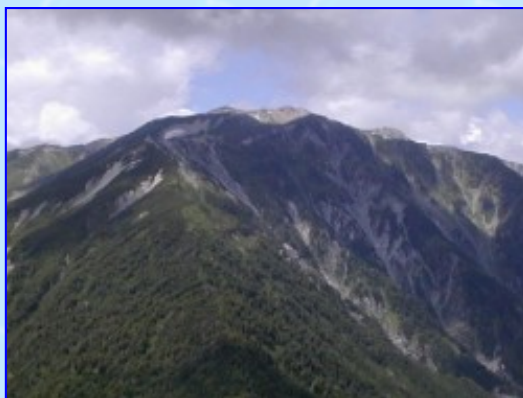
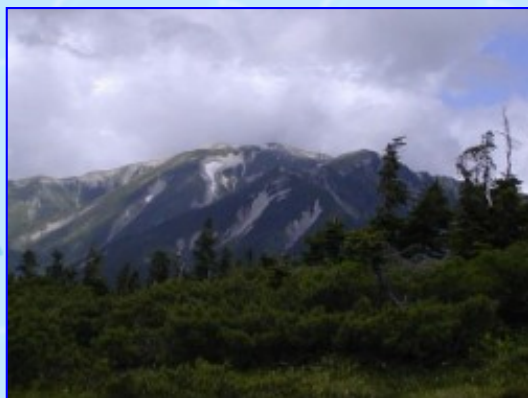
太郎平小屋まで、最後一緒に登った、新しい小屋の従業員の若者と小屋のご主人。中央は、天気予報がはずれてすばらしい天気、黒部源流の山々を背景のスナップ。右は、雲ノ平にて九州からきた登山者の皆さん。

いつも見慣れた、有峰湖畔。アップが間に合えば、紹介するはずだったのですが。毎年この頃には、有峰フェスティバルがあります。今年は、小室さんが来たようです。8/3,4は通行無料券がコンビニでもらえます。



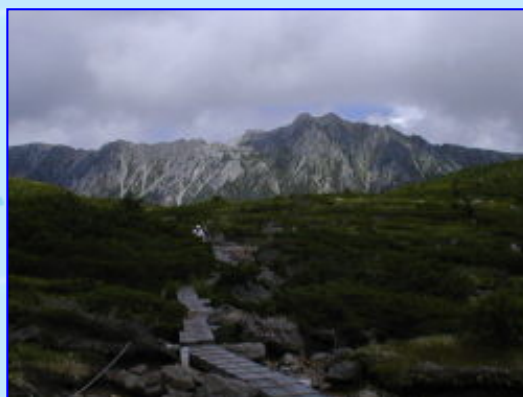
三角点からの展望。この時点で、コースタイムは50分。ペースが速すぎる。

薬師沢への途中から、薬師岳を望む。今日は、焼けつくような暑さだ。でも今日は、スポーツ飲料などを500ml×10本用意したので、体調は万全。



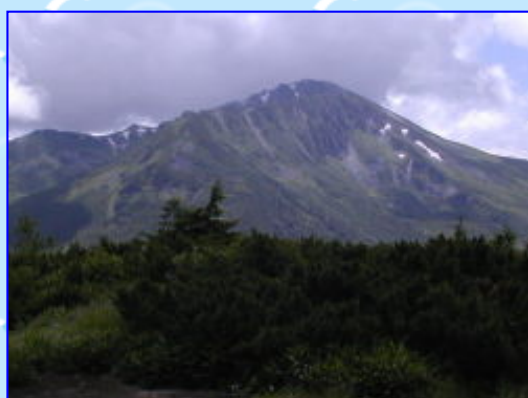
雲ノ平山荘への途中の、薬師岳の雄姿。今まで見た事のない山容に、驚いてしまった。

一際、目立つ水晶岳。さぞかし、夕日がきれいでしょうね。やはり一泊したいところです。



雲ノ平の庭園からの、赤牛岳。お花畑は、すべてシーズンは終わり。この日当たりのよさからすると、雲ノ平のシーズンは、7月ですね。

堂々とした、威容の黒部五郎岳。
今まで、雲ノ平は、晴れたときに来たことがなかったので、この山の魅力も見直した。
一度、日帰りで行って見ようかな。



雲ノ平の庭園を歩く、登山者。
今日の雲ノ平山荘の宿泊者はとても多そうだ。

ようやく、雲ノ平山荘に到着。ちょっと入り口が寂しそうだったのですが、裏へ行くともうこの時間で、たくさんの宿泊者がいた。

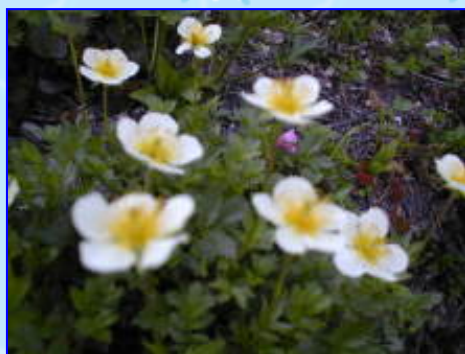


雲ノ平山荘からの水晶岳

ようやく、薬師沢を登り切った。大変、つらい登りであった。どうも、途中帽子をかぶらなかったので、熱中症になりかけたらしい。やはり、帽子は必要だ。



太郎平小屋のお花畑より雲ノ平を望む。



情報アラカルト

このコースの特徴は、折立から太郎平小屋までは、まったく水がなく。

薬師沢までは、至る所に水場があるということだ。

また、雲ノ平までも水場がない、テント泊のみなさんは注意してください。

薬師沢から雲ノ平までの急登は、岩が湿っていて、とても滑りやすいので、登りも・下りも要注意。

薬師沢への登山道は、すばらしく整備されているが、自分の想像以上に時間を要したと思いますので、コースタイム以上に余裕を持ってください。

この青空、予想を裏切って、思いきりよい天気になってしまった。・・・・いよいよ太郎小屋は近いぞ。
今日は快適、身体の調子も絶好調。折立から太郎平小屋まで約1時間20分・・調子がよい。



薬師沢での写真。ここから、急な上り坂をようやく抜けると、薬師岳が見える。

ノートパソコン2台とも、修理のため、大変更が遅れてしまいました。・・・・

先日8/1は、太郎平小屋・雲ノ平・高天原方面へ行きました。

残念ながら、高天原までは、とてもとても無理なようでしたが、雲ノ平までは、可能でしたが、やや疲れた1日でした。

有峰口 6:00 - 折立 6:50 - 三角点 7:40 - 太郎平小屋 9:10 - 薬師沢 10:50

- 雲ノ平 13:30 - 薬師沢 14:30 - 太郎平小屋 16:40 - 三角点 17:50

- 折立 18:40 - 有峰口 19:10